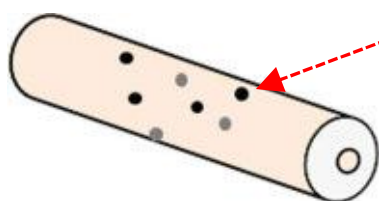


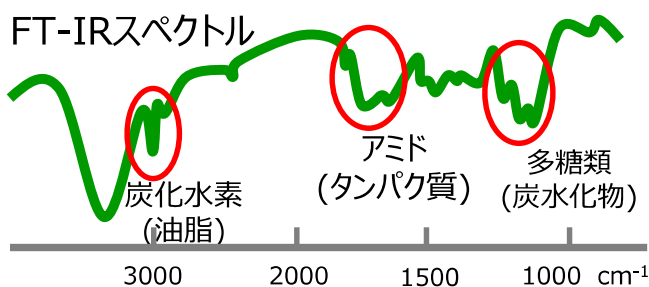
異物分析 -カビ類(真菌)の培養と同定-

製造ラインや製品の異物として「カビ類(真菌)の繁殖」があります。異物分析でしばしば用いられるFT-IRで解析しても本当にカビなのかは確定できません。異物を採取、培養することでカビの有無を確認し、種類を同定することができます。

FT-IRによる異物の同定



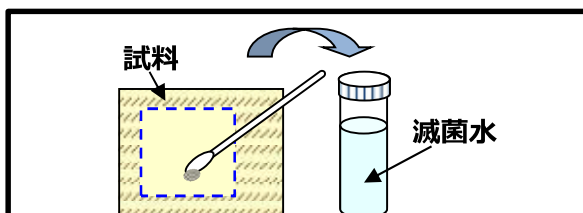
異物をFT-IR解析しても本当にカビ類かは確定できない



代表的な3成分から生物由来であることは分かるが、それ以上の詳細は不明。

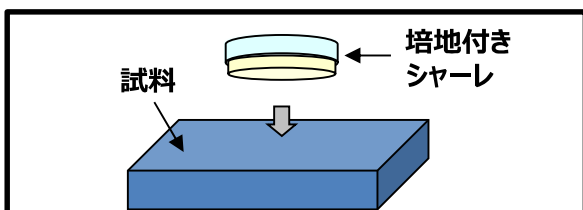
カビ類の同定方法

① 異物をサンプリングします



付着した黒い斑点を綿棒で拭き取り、滅菌水に分散する。

拭き取り法



表面に付着した細菌や真菌を培地付きシャーレに転写する。

スタンプ法

② カビ用の培地で培養します



生きていれば、生育してコロニーが形成されます

③ 顕微鏡観察や遺伝子解析します



生育したカビを用いて同定が可能になります

遺伝子解析は提携機関にて実施